

具体的な活動内容

目 標	具体的活動
<p>1 認知症への理解を深めるための正しい知識の普及・啓発</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あしやトライあぐるでの広報活動 ・地域見守りネットワーク登録企業等への周知啓発 ・福祉センターでのパネル展示 ・図書館での普及啓発イベント ・市民向け講座の開催
<p>2 相談・支援体制の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関との連携 ・認知症事例検討会 ・四季の会への参画
<p>3 地域で支える体制づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チームオレンジの検討 ・あしやの会の開催
<p>4 若年性認知症の人への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット改訂 ・若年性認知症ネットワーク会議

具体的な取り組みと全体スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 啓発				あしやトライあぐる(10月放映)								
			地域見守りネットワーク登録企業 等への周知啓発			図書館での 普及啓発					福祉センター パネル展示	
2 相談			事例 検討会①			事例 検討会②		事例 検討会③		事例 検討会④		事例 検討会⑤
	四季の会 ①		四季の会 ②			四季の会 ③				四季の会 ④		
3 地域	あしやの会(奇数月第三金曜日)											
	チームオレンジ検討											
4 若年性			若年性リーフレット改訂									
	若年性認知症 NW会議(個別)			若年性認知症 NW会議(個別)			若年性認知症 NW会議					

1 認知症への理解を深めるための正しい知識の普及・啓発

①取り組み内容・概要

・図書館での普及啓発イベント



図書館(本館)にて認知症に関する書籍の展示・貸出・紹介を行う。
合わせて、認知症相談センター等のパネル展示や認知症カフェちらし
を設置。(9月3日～10月5日)
市章のライトアップも実施(9月16日～9月21日)

・あしやトライあぐる

認知症カフェやあしやの会、あじさいの会の紹介。
協力企業へのインタビュー等を放映。(10月)



・地域見守りネットワーク 登録企業等への周知啓発

地域の関係企業への聞き取りを調査を行い、
認知症の人への対応での連携及び啓発活動を行う。



・福祉センターでのパネル展示

福祉センターエントランスにて認知症に関する
パネルを設置。(2月24日～3月19日)

・市民向け講座の開催

認知症に関する講演会等を行い、普及啓発を行う。



②課題・目標

新しい認知症観の理解を深め、当事者がいつまでもいきいきと、
安心して暮らせる地域づくりを展開する必要がある。

引き続き、地域の企業、認知症カフェとも連携しながら、新しい認知症観を広く市民に啓発する。



2 相談・支援体制の充実

①取り組み内容・概要

医療機関に対して、認知症相談センターの役割を周知・普及啓発すると共に、介護保険に限らない社会資源の紹介や、医療機関との個別の事例検討を実施しながら、地域で支える体制づくりを目指している。

具体的取り組み

- 兵庫医科大学病院と加藤心療内科クリニックとの事例検討を継続実施
- 在宅医療介護医療連携支援センターを通じて医療機関への情報発信の場を検討
- 兵庫医科大学病院 認知症疾患医療センターと連携し四季の会に参加し、地域の社会資源の紹介

②課題・目標

【課題】

- ・医療機関から認知症相談センターへの相談件数は少なく、普及が十分とは言えない。
- ・介護保険サービス外の社会資源についても、情報が届きにくく、活用が進みにくい状況にある。

【目標】 医療との顔の見える関係づくりを行い、連携をスムーズに行える。

3 地域で支える体制づくり

①取り組み内容・概要

認知症の方やその家族が、住み慣れた地域で安心して生活できるように、あしやの会の開催や地域への周知啓発、認知症サポーターとも協力しながら地域で支える体制づくりを目指している。

②課題・目標

(1) チームオレンジの検討

【課題】 本人・家族のニーズと認知症サポーターを中心とした支援を繋ぐ仕組み(チームオレンジ)が整備されていない。

【目標】 チームオレンジの設置

⇒既存の資源で、チームオレンジと同じ機能をもっているものがあるのではないかと検討していく。

(2) あしやの会の開催(奇数月 第3金曜日)

【課題】 当事者の参加が少ない。

【目標】 当事者が気軽に参加することができる。

⇒当事者のやりたいこと、やってみたいことを聞きながら、次の開催内容を決めていく。

今までは福祉センターで開催していたが、市内全域から参加しやすいようにリード芦屋で開催。

開催内容によっては外出も検討。

医療機関やケアマネジャー等の関係機関に対しての周知啓発。



4 若年性認知症の人への支援

①取り組み内容・概要

(1) 若年性認知症啓発リーフレット改訂

R4年度に作成したリーフレットをより手にとってもらえるものに改訂する

(2) 若年性認知症ネットワーク会議を開催

(システム検討会議) 支援システムの構築や、不足する社会資源、インフォーマルサービス等の創出に関する検討・取組を行う。

(個別支援会議) 新規で相談のあったケースにおいて随時開催する

②課題・目標

(1) 若年性認知症啓発リーフレット改訂

【課題】

若年性認知症に関する相談が少なく、地域の方にリーフレット等を活用した周知が出来ていない。

【目標】

若年性認知症ネットワーク会議で意見をもらいながら、若年性認知症啓発リーフレットを改訂

(2) 若年性認知症ネットワーク会議(個別支援会議)開催

【課題・目標】

若年性認知症の方への支援が多方面にわたり、多機関連携において支援が必要である。

本ネットワーク会議を開催することで、どの構成機関が相談を受け付けても、チーム体制で支援が出来る体制をつくる。

また、個別ケースから地域課題も検討することで、今後の必要な取組につなげる。